

マレーシアのパーム関連政府機関

規制機関	機能/役割
プランテーション工業・商品省 Ministry of Plantation Industries & Commodities (MPIC)	MPICは、マレーシアプランテーションのコモディティベースの産業国際競争力を確保し、国家の発展への貢献を責任を負う。MPICの機能には、パームオイル産業の発展のための戦略の策定、調整及び実施状況の監督、並びにマレーシアパームオイル委員会(MPOB) 及びマレーシアパームオイル協議会(MPOC) に関する調整及び監督が含まれる
エネルギー天然資源省 Ministry of Energy and Natural Resources(MENR)	MENRはエネルギーと天然資源(土地・生物多様性・野生生物・林業など)を監督。持続可能な開発という目的に沿って、15のイニシアチブを設置しており、生物多様性の保護、森林、土地、鉱業管理の改善、地質遺産の強化、エコツーリズムの促進、国のカーボンフットプリントの削減等を掲げる
マレーシアパームオイル評議会 Malaysian Palm Oil Association (MPOA)	MPOAは、国内および国際レベルで発信するための業界団体の位置付け。MPOAはRSPOの創設メンバーであり、RSPOおよびMSPOの持続可能性基準の策定に貢献
マレーシアオイル委員会 Malaysian Palm Oil Board (MPOB)	MPICの傘下にあるMPOBは、主にパームツリー産業における研究開発と規制・ライセンス促進という二つの役割を担っている。マレーシアにおけるパームツリー産業の存続可能性を確保するため、同省の政策と開発プログラムを実施している。なおMPOBは、MSPO標準の策定機関(SWO) でもある
マレーシアパームオイル協議会 Malaysian Palm Oil Council (MPOC)	MPOCは、パームオイルに関わる様々な技術的・経済的優位性(技術経済的優位性) 及び環境の持続可能性を認識し、パームオイル産業のイメージを高め、よりパームオイルのより信頼性高い認知を創出することにより、マレーシアのパームオイル及びその製品の市場拡大を促進するものである
マレーシアパームオイル認証協議会 Malaysian Palm Oil Certification Council(MPOCC)	MPOCCは、マレーシアの持続可能なパーム油(MSPO) 認証制度を開発・運営するために、2014年12月に設立された独立機関である。主要な役割は、申請者の認証の処理、証明書の使用と発行に関する規則の策定、査定者の認証報告書の承認、不服申立てと苦情の手続き、および認証コストを含む、監査可能な持続可能性基準の要件を満たす事業体の認証のためのメカニズムを確立することである

マレーシアのパーム関連政府機関

規制機関	機能/役割
サバ環境保護局 <u>Environment Protection Department (EPD)</u> <u>Sabah</u>	EPDは、サバ州における観光・文化・環境省の下にある州政府機関であり、その責任範囲には、環境計画、申請された開発活動の審査、環境アセスメント、監視、執行が含まれる
農務省(農薬管理課) <u>Department of Agriculture</u> <u>(Pesticides Control Division)</u>	農薬管理課は、1974年農薬法の実施と執行を担当する農務省(DOA) の技術部門であり、登録制度を通じて、国内で輸入・製造された農薬の品質・有効性・副作用の管理に関わっている。また、農薬の操作や使用の管理、毒性の強い農薬の使用管理、農薬の表示や広告の規制なども担当している
サラワク天然資源環境委員会 <u>Natural Resources and Environment Board (NREB)</u>, <u>Sarawak</u>	NREBは、サラワク州において、持続可能な開発の原則に基づいて、環境の保護と管理、及び天然資源の保全を責任として負っている
人的資源省労働安全衛生部 <u>Department of Occupational Safety and Health (DOSH)</u>	DOSHは人的資源省の下にある部局であり、労働者の安全、健康及び福祉を確保するとともに、パームツリー産業を含む多くの産業において、労働上の安全及び健康上の危険から他の従事者を保護する責任を負う。DOSHは、国の労働安全衛生に関連する法律の管理と執行に責任を負う他、1967年施行の工場機械法とその規制の執行責任も負う
人的資源省 <u>Ministry of Human Resources</u> <u>(MOHR)</u>	MOHRは、技能開発、労働、労働安全衛生、労働組合、労使関係、産業裁判所、労働市場の情報と分析、社会保障を担当し、同省は、雇用法、労働組合法、労働安全衛生法など、主要な労働法の一部の管理も担当している



3. パーム油（マレーシア）

- 3-1 マレーシアの概要
- 3-2 マレーシア産パーム油の現状
- 3-3 サステナビリティに関連する課題等
- 3-4 マレーシア産パーム油の品質・量の安定調達のための取組の方向性

MSPO認証の取得状況

- 2023年2月19日段階のMSPOの認定状況は、独立した小規模農家の認証面積70.7万ha、組織化された小規模農家77.2万ha、プランテーション506.5万ha、合計654.4万ha

MSPO認証済のアブラヤシ栽培面積（2023年2月）

区分	認証面積（ha）
MSPO Part 2で認証された独立した小規模農家	707,209.99
MSPO Part 3で認証された組織化された小規模農家	772,197.07
MSPO Part 4で認証されたプランテーション	5,065,016.34
合計	6,544,423.39

MSPO認証済の施設数（2023年2月）

区分	認証施設数
MSPO Part 4で認証されたプランテーション	455

サプライチェーン認証を取得している加工施設（2023年2月）

区分	認証施設数
搾油所	432
パームカーネル粉碎所	45
精油所	59
油脂化学製品工場	33
バイオディーゼル製油所	10
その他	
合計	579

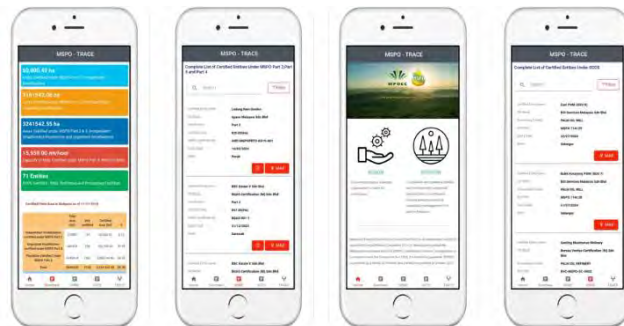
資料：MPOBデータより、みずほリサーチ＆テクノロジーズ作成

パームに対するトレーサビリティ強化の経緯

- 2019年4月、マレーシアパームオイル認証協議会（MPOCC）は、アブラヤシの植付けから搾油・精製までのMSPO認証油のサプライチェーンを追跡するトレーサビリティ・ソリューション「MSPO Trace」を発表
- 当初、「MSPO Trace」は、在庫レベル、価格、取引量、関係者な情報など、MSPO認定製品を取引するためのプラットフォームとして整備されていたが、関連する企業や代理店等の利害関係者の意見を踏まえて、トレーサビリティ機能（パーム油製品を原材料の供給源まで追跡する機能）を管理するために再構築された
- トレーサビリティモジュールは、認証モジュールと統合されており、農園から製粉、精製、加工、製品の製造に至るまでサプライチェーン全体でFFBの追跡ができる。全ての企業や団体のプロフィール情報、サプライヤーとバイヤーのデータベース、販売情報及びバリューチェーン全体を接続する取引情報などの組み合わせでトレーサビリティが可能となっている
- 2020年4月～6月、マレーシア企業の協力を得て、パイロットテストを実施
- 2020年6月15日に、新たなトレーサビリティモジュールが公開。合計649のMSPOのSCCS認証保有者に対して「MSPO Trace」のアカウントが提供された
- なお、トレーサビリティモジュール内のトレーサビリティ取引宣言機能は、MSPOサプライチェーン認証基準(MSPO SCCS) に準拠するように開発されており、SCCS認証保有者は、MSPOトレース内のトレーサビリティモジュールを使用して認証ステータスを維持する必要がある。この要件は、2020年9月1日から適用される
- 「MSPO Trace」は、App StoreとGoogle Playの両方でモバイルアプリケーションとして無料で入手可能



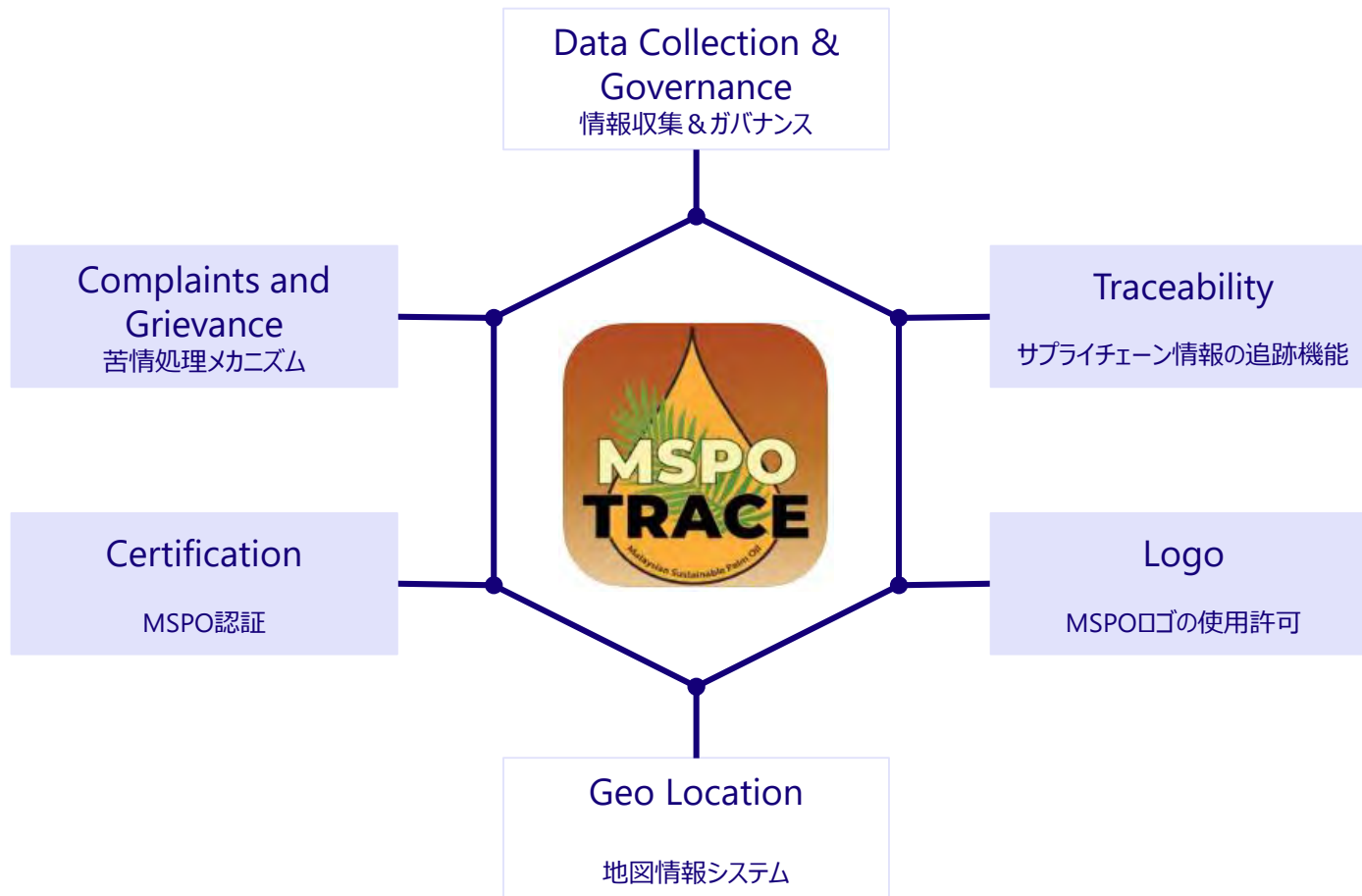
MSPO Trace 4+
Malaysian Palm Oil Certification Council
無料



資料：MSPO Traceより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

パームに対するトレーサビリティ強化の経緯

- MSPOトレースは、「認証」「トレーサビリティ」「苦情処理メカニズム」「ロゴの使用許可」の4つのモジュールで構成されている



資料：MSPO Traceより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

MSPOの苦情処理メカニズム

- MSPOの苦情処理メカニズム（Complaints and Grievance）は、以下のような8段階で構成され、MSPO Traceプラットフォームで申し出を受け付け、評価、調査され、内容によって訴訟で処理される



資料：MSPO Traceより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成



第4章. コーヒー豆



4. コーヒー豆

- 4-1 コーヒー生産国の概要
- 4-2 コーヒーの国際流通の現状
- 4-3 海外企業の実績事例
- 4-4 コーヒー関連の持続可能性認証の利用状況